

問1 親と似た姿すがたで生まれる動物の受精卵じゅせいらんが、たまごたまごで生まれる動物の受精卵じゅせいらんよりも小さいのはなぜですか。

1. 成長に必要な養分をためこんでいないから。
2. 生まれるまでに長い時間がかかるから。
3. 親の体の中でたくさんの空気をすうから。
4. たまごのからを作る必要がないから。

問2 ヒトやウマ、ネコなどのように、生まれたときから親とよく似た形とくちょうや特徴とくちょうをもっている動物のことを何といいますか。

1. 親と似た姿すがたで生まれる動物
2. 卵たまごから生まれる動物
3. 親とちがう姿すがたで生まれる動物
4. 水の中で育つ動物

問3 母親の子宮しきゅう（しきゅう）の中で育っている子どものことを何といいますか。

1. 胎児たいじ（たいじ）
2. 赤ちゃん
3. たまご
4. よう虫

問4 子宮の中にある羊水たいじには、胎児たいじにとってどのような大切なたいじはたらきがありますか。

1. 外からの衝撃しょうげきから胎児たいじを守るはたらき
2. 胎児たいじに直接栄養とどや酸素とどを届けるはたらき
3. 胎児たいじの体を温めるために熱をつくり出すはたらき
4. 胎児たいじの骨ほねや筋肉きんにくを直接つくり出すはたらき

問5 卵たまごを産む動物の卵たまごの中で、子どもはどのようにして育つための養分をとり入れますか。

1. 卵たまごの中なかに含まれる養分ふくを使って育つ
2. 親の体から送られる養分とどを使って育つ
3. まわりの水や空気から養分とどをすいとって育つ
4. 自分で光合成をして養分とどをつくらせて育つ

問6 おなかの中の赤ちゃんたいじ（胎児たいじ）は、へそのおを使ってどのようなことをしていますか。

1. 母親から養分をもらったり、いらなくなったものを母親に返したりする。
2. 母親から直接空気すを吸いこんで、呼吸こきゅう（こきゅう）をする。
3. おなかの中を自由に泳ぎ回るため、ロープとして使う。
4. おなかの中の温度を、一定に保つために使う。

問7 女性の体内でつくられた卵たまご（卵子らんし）と、男性の体内でつくられた精子が結びつくことを何といいますか。

1. 消化
2. 呼吸こきゅう
3. 発芽
4. 受精

問8 次のうち、たまごのすがたすがたでうまれてくる動物の組み合わせとして正しいものはどれですか。

1. メダカとニワトリ
2. ヒトとイヌ
3. ネコとウシ
4. サルとウサギ

問9 ヒトの卵らん（らん）の直径（ちよっけい）は、およそどれくらいの大きさですか。

1. 約0.14mm
2. 約0.014mm
3. 約14mm
4. 約1.4mm

問10 生まれ出てきたばかりのヒトの子どもは、母親から何をもらって育ちますか。

1. ちち
2. 水
3. 草
4. 肉

問11 子宮という場所じゅせいらんで受精卵じゅせいらんを育てる動物には、どのような特徴とくちょうがありますか。

1. 親と似た姿すがたで生まれてくる。
2. 卵たまごからかえってから育つ。
3. 親とはまったくちがう姿すがたで生まれてくる。
4. 水の中で卵を産んで育てる。

問12 ヒトの子どもは、受精してから誕生たんじょうするまでに、母親の体の中で約何週間育ちますか。

1. 約10週間
2. 約24週間
3. 約52週間
4. 約38週間

問13 ヒトの子どもが生まれるときの、一般的な体重いっぼんてきと身長いっぼんてきの組み合わせとして正しいものはどれですか。

1. 体重約1kg、身長約30cm
2. 体重約3kg、身長約50cm
3. 体重約5kg、身長約70cm
4. 体重約8kg、身長約90cm

問14 親と似た姿すがたで生まれる動物と、たまごで生まれる動物をくらべたとき、受精卵じゅせいらんの大きさにはどのようなちがいがありますか。

1. 親と似た姿すがたで生まれる動物のほうが小さい。
2. たまごで生まれる動物のほうが小さい。
3. どちらの動物も同じ大きさである。
4. 親の体の大きさが大きい動物のほうが小さい。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 1 成長に必要な養分をためこんでいないから。	親 <small>すがた</small> と似た姿 <small>じゆせいらん</small> で生まれる動物は、受精卵 <small>じゆせいらん</small> の中に成長に必要な養分をためこんでいないため、受精卵 <small>じゆせいらん</small> の大きさが小さくなります。
問2	答え 1 親 <small>すがた</small> と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物	ヒトやウマ、ネコなどは、生まれたときから親 <small>すがた</small> とよく似た姿 <small>すがた</small> をしています。このような動物を「親 <small>すがた</small> と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物」といいます。
問3	答え 1 胎児 <small>たいじ</small> (たいじ)	母親の子宮の中で育っている子ども <small>たいじ</small> のことを胎児 <small>たいじ</small> といいます。
問4	答え 1 外 <small>しょうげき</small> からの衝 <small>たいじ</small> 撃 <small>たいじ</small> から胎児 <small>たいじ</small> を守るはたらき	羊水には、子宮の中で胎児 <small>たいじ</small> を浮かせることで、外 <small>しょうげき</small> からの衝 <small>たいじ</small> 撃 <small>たいじ</small> から胎児 <small>たいじ</small> を守るはたらきがあります。
問5	答え 1 卵 <small>たまご</small> の中 <small>ふく</small> に含まれる養分を使って育つ	卵 <small>たまご</small> を産む動物の子どもは、親の体から栄養をもらうのではなく、卵 <small>たまご</small> の中に最初 <small>ふく</small> から含まれている養分を使って育ちます。
問6	答え 1 母親から養分をもらったり、いらなくなったものを母親に返したりする。	胎児 <small>たいじ</small> はへそのおを通して、母親から成長に必要な養分をもらい、いらなくなったものを母親に返しています。
問7	答え 4 受精	女性の体内でつくられた卵 <small>たまご</small> (卵 <small>らんし</small>) と、男性の体内でつくられた精子が結びつくことを受精といっています。
問8	答え 1 メダカとニワトリ	メダカやニワトリ、サケ、カエル、カメ、ヘビなどは、たまごの状態 <small>たまご</small> で生まれてくる動物です。
問9	答え 1 約0.14mm	ヒトの卵 <small>らん</small> の直径は、約0.14mmというとても小さな大きさです。
問10	答え 1 ちち	生まれたばかりのヒトの子どもは、母親からちちをもらって栄養をとり、育ちます。
問11	答え 1 親 <small>すがた</small> と似た姿 <small>すがた</small> で生まれてくる。	子宮 <small>じゆせいらん</small> で受精卵 <small>じゆせいらん</small> を育てる動物は、母親のおなかの中で育ち、親 <small>すがた</small> と似た姿 <small>すがた</small> で生まれてくるといふ特徴 <small>とくちょう</small> があります。
問12	答え 4 約38週間	ヒトの子どもは、受精してから約38週間かけて母親の子宮の中で育ち、誕生します。
問13	答え 2 体重約3kg、身長約50cm	ヒトの子どもは、母親の体内で体重約3kg、身長約50cmにまで成長して生まれてきます。
問14	答え 1 親 <small>すがた</small> と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物のほうが小さい。	親 <small>すがた</small> と似た姿 <small>すがた</small> で生まれる動物の受精卵 <small>じゆせいらん</small> は、たまごで生まれる動物の受精卵 <small>じゆせいらん</small> よりも小さくなっています。